

## 災害対策について

**問** 防災マップをもっと市民の理解に活用すべきと考えるが所見を伺う。

**答** 市では、出前講座や地域の防災訓練などの様々な機会を捉え、防災マップを活用した防災情報の周知活動に努めているほか、市ホームページにも防災マップ情報を掲載するとともに、鹿角きりたんぼFMでの放送や市広報を利用して、定期的に防災情報を発信するなど、災害が発生した場合に防災マップを有効活用していただけるように、日頃から呼び掛けを行っております。

現在配布している本市防災マップについては、平成27年12月に作成し全戸配布したものでありますが、マップの大きさをA3サイズとし、高齢者が読みやすいよう重要事項を大きな字で表示するなど、比較的分かりやすいとの評価を得ておりますので、防災マップに興味を持ち、手に取っていただく機会が多くなるよう、さらなる周知に努めてまいります。

## 子育て世代への支援拡充について

**問** 教育費の負担に不安を抱えている親が多いが、幼児教育の無償化や奨学金のさらなる充実を図り、子育て世代への支援を拡充すべきと考えるが所見を伺う。

**答** 今年6月に閣議決定された「経済財政運営と改革の基本方針2018」において、来年10月から3歳以上の全ての子供及び0歳から2歳までの住民税非課税世帯の子供についての保育園等の利用料金の無償化を実施することとしております。

今年6月に閣議決定された「経済財政運営と改革の基本方針2018」において、来年10月から3歳以上の全ての子供及び0歳から2歳までの住民税非課税世帯の子供についての保育園等の利用料金の無償化を実施することとしております。

奨学金については、本市の無利子貸与制度のほか、国の給付型奨学金や県の一定要件を満たした場合に奨学金の返還を助成する制度があり、また、福祉施策の面ではひとり親世帯を対象とする貸し付けのほか、今年度から生活保護世帯の進学支援に関する給付金も創設されております。

市としては、国や県の支援策拡充の動向を注視し、引き続き保護者の負担感の解消に努めてまいります。

## 兎澤 祐一 議員

(鹿真会・公明)



### 質問した項目

- 災害対策について
- 観光危機管理について
- 全国「100万人訪問・調査」について

## 成年後見制度の充実について

**問** 市民後見人の養成、及び利用促進を図るための後見センターを設立するなど、制度の充実を図れないか伺う。

**答** 法人後見の複数後見を参考にしながら市民後見人のあり方も検討してまいります。

後見センターの設立は、社会福祉協議会が開設している権利擁護センターが近い役割を果たしているため、今後策定する基本計画に中核機関として位置付け、制度の利用促進を図ってまいります。

### 質問した項目

- 成年後見制度について
- まちづくりについて



## 戸田 芳孝議員

(無会派)

**問** 十和田南駅周辺地域の活気を取り戻すために、何かしらの戦略を打ち出せないか伺う。

**答** 鹿角市全体の中で十和田地区をどのようなエリアとして位置付け、個性あるまちづくりを目指すかを検討してまいります。

## 四の岱市営住宅の老朽化対策について

**問** 四の岱住宅は経年劣化が進んでおり、安全性の確保だけでなく、居住性の向上も必要である。早急に改修すべきであるが、どのように考えているのか伺う。

**答** 今年度から2カ年で屋根塗装のほか、来年度には使用期限となる火災報知器の更新を予定しております。

## 都市計画マスタープランについて

**問** 鹿角市都市計画マスタープランを見直しするにあたり、重視すべき点は何か伺う。

**答** 人口減少社会に対応したコンパクトなまちづくりのほか、自然環境などの景観保全や、災害に強いまちづくりを重視しながら、見直しを進めてまいります。

長寿命化計画では建て替えを含めた活用手法の判定を行っており、四の岱住宅についても建て替え候補としておりますので、おおむね5年を目途とした計画見直しの際に、維持管理と整備方法などを検討してまいります。